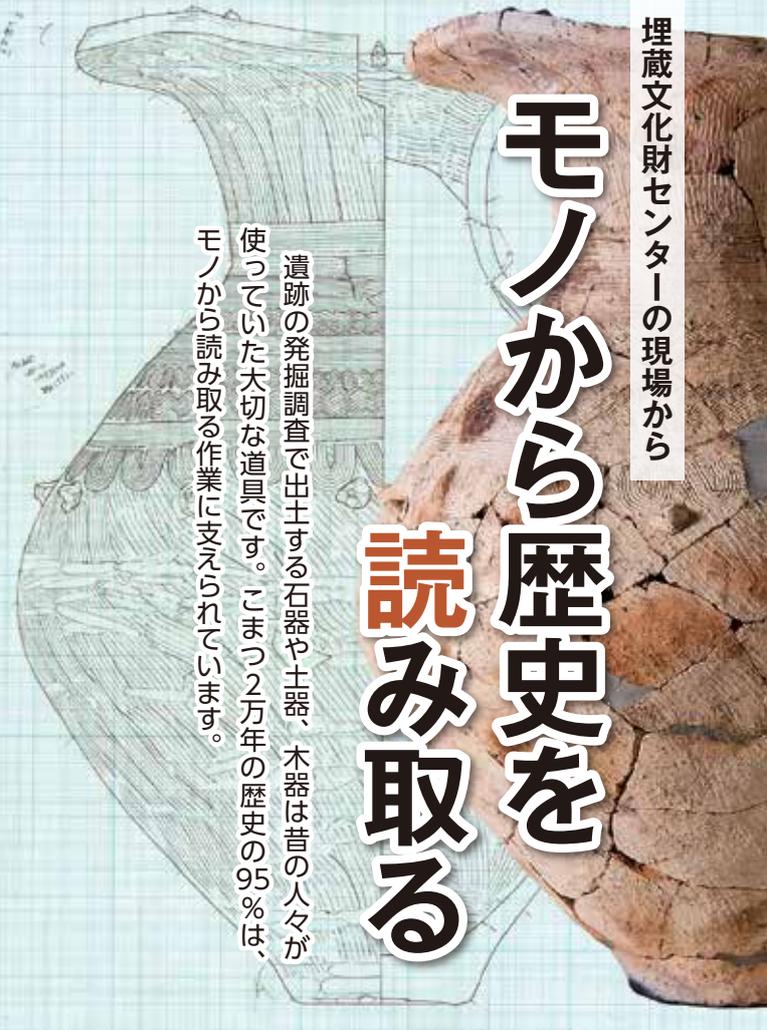


# モノから歴史を 読み取る

遺跡の発掘調査で出土する石器や土器、木器は昔の人々が使っていた大切な道具です。こまつ2万年の歴史の95%は、モノから読み取る作業に支えられています。



## 歴史を語る遺物の 出土から分析までの道のり

遺跡からの出土品は、埋蔵文化財センターに持ち帰ってから、どのような道をたどるのでしょいか。

泥だらけの状態の遺物は、まずきれいに洗浄し、次に、注記作業といって、出土した遺跡名や出土位置を示す記号が書き込まれます。

注記作業が終わると、形や色を観察して、似たもの同士が集められ、接合、そして復元という工程を経ます。小さなカケラを組み合わせて復元する作業は、立体のジグソーパズルのようで難しそうですが、慣れてくると結構楽しいものです。

こうした基本的な整理作業が終わると、いよいよ細かな記録と分析が始まります。

出土品を原寸で平面図にする作業を「実測」といいます。色や焼け具合、模様に入り方、製作方法などを細かく観察します。この観察の過程で、年代や地域色、他地域との交流、時には、当時の製作者の姿までよみがえってきます。

最近では科学分析も進み、小松の歴史がますます面白くなってきています。調査成果にどうぞご期待ください。

## 市民考古楽講座

出土品を参考に、地域の歴史や考古学を楽しみながら学びます。①②とも2日間の内容は同じです。

①矢田野エジリ古墳で埴輪研究は何が変わったか!?

とき 2月8日(木)、11日(祝)いずれも13時30分～15時30分

②八日市地方遺跡で今、何が起きているのか!?

とき 3月1日(木)、4日(日)いずれも13時30分～15時30分

定員 ①②とも各30人(先着順、要申し込み)

参加費 無料

### 春季企画展

「校下別代表遺跡で語る！  
こまつ歴史年表2018」

それぞれの校下にある代表的な遺跡・遺物を紹介します。

とき 2月24日(土)～6月24日(日)

観覧料 100円、高校生以下無料  
※こまつミュージアム・パスが使えます

ところ いずれも埋蔵文化財センター(原町)

申し込み・問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎47・5713

◀出土品の実測作業。ミリ単位の計測と細かな観察が求められます。



注記作業には面相筆を使います。なんと、管圧を開ける太さ1mmの石針にまで書くこともあります。



▶小松式土器の壺とその実測図



▲埋蔵文化財センターでは、出土品整理の様子も見学できます。

